



プラスチック対策の推進に係る取組について

令和7年3月1日

プラスチック対策検討会

1. 概要

プラスチック対策検討会では、令和2年4月の設置以降、プラスチック対策（プラスチック代替品の開発支援・普及促進、プラスチックごみ散乱・流出抑制等）について、関西広域での取組を進め、地域創生につなげることを目的として、以下の取組を行いました。

2. 主な取組内容

- （1）プラスチック代替品の普及およびプラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の促進
- （2）プラスチック対策プラットフォームの開催

※別紙参照

(1) プラスチック代替品の普及およびプラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の促進

① プラスチック代替品の普及に係る取組の促進について

令和6年度は、令和2年度から令和4年度にかけて実施したプラスチック代替品の普及可能性調査の成果（プラスチック代替品の普及に向けた取組事例や課題への対応策などを盛り込んだ情報集）を活用し、プラスチック以外の素材・生分解性素材・バイオマス活用素材を使用した製品の普及に係る事業者や自治体の取組を促進するため、情報集を更新し、構成府県市や事業者向けの研修会を開催しました。

プラスチック代替情報オンライン研修会 令和6年11月26日(火)

参加者数：46名

講師：

- ・「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について」
(環境省 環境再生・資源循環局
総務課容器包装・プラスチック資源循環室 主査 岡林 正行氏)
- ・「プラスチック代替素材製品の普及に向けた情報集について」
(株式会社ダン計画研究所 産業・経済グループ
研究主任 辻 雄介氏)



② プラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の促進について

令和6年度は、令和2年度から令和4年度にかけて実施したプラスチックごみ散乱状況の把握手法等調査の成果（プラスチックごみ散乱状況推計モデル及び利活用マニュアル）を活用し、陸域の散乱ごみの削減に係る自治体等の取組を促進するため、マニュアルを更新し、構成府県市や事業者向けの研修会を開催しました。

プラごみ散乱状況推計モデル利活用にかかるオンライン研修会

令和7年2月5日(水)

参加者数：40名

1. 先行取組紹介

- ・「OSAKA ごみゼロプロジェクトの取組」
(大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課)
- ・「ごみゼロ共創ネットワークの取組」
(ごみゼロ共創ネットワーク事務局)
- ・「プラスチックごみゼロを目指す亀岡市の取組」
(亀岡市環境先進都市推進部)

2. プラスチックごみ散乱状況推計モデルについて

(株式会社ダン計画研究所 産業・経済グループ 研究主任 辻 雄介氏)

また、民間団体と連携したプラスチックごみ削減のモデル的な取組として、「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナーである「ごみゼロ共創ネットワーク」との共催により令和6年5月30日(木)、9月25日(水)清掃活動イベントを実施しました。



(2) プラスチック対策プラットフォームの開催

関西広域でのプラスチック対策（プラスチック代替品の開発支援・普及促進、プラスチックごみ散乱・流出抑制等）の取組を進め、地域創生につなげることを目的として、令和6年度は「プラスチック対策プラットフォーム」を3回開催し、意見交換や情報の共有を行いました。

プラットフォームメンバー

関西広域連合構成府県市、（一社）全国清涼飲料連合会、（一社）日本フランチャイズチェーン協会、PET ボトルリサイクル推進協議会、日本チェーンストア協会関西支部

第1回会議 令和6年 11 月 26 日(火)

参加者数：46 名

講師：

- ・「使い捨てのプラスチック製アメニティを無くすことによるプラごみ削減への貢献の取組」（滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事・SDG s 推進委員長 黒田 拓也氏）
- ・「松本市ワンウェイプラスチック削減ミッションの取組について」（松本市 環境エネルギー部 環境・地域エネルギー課 課長補佐 大野 正幸氏）

第2回会議(3R 推進シンポジウム) 令和6年 12 月 19 日(木)

（※広域環境保全局と共催しオンライン配信）

参加者数：55 名

主なプログラム：

1. 基調講演

「めざせ！ごみゼロ」（総合地球環境学研究所 教授 浅利 美鈴 氏）

2. 事例発表「プラスチックごみや食品ロス、ファッションロス削減に向けた 3 R 推進の取組み」

- ・「廃棄ビニール傘のアップサイクルでプラごみ削減に取り組む」(octangle)
- ・「町民主体の廃棄物中間処理と、体験宿泊を併設する公共施設からゴミゼロ社会を提案」（上勝町ゼロ・ウェイトセンター “WHY”）
- ・「『在庫』というファッションロスをビジネスモデルに転換」（株式会社 Shoichi）
- ・「関西広域連合プラスチック対策検討会の取組」（関西広域連合プラスチック対策検討会）

3. パネルディスカッション「3R をもう一歩すすめるために～私たちができること～」

コーディネーター：総合地球環境学研究所 教授 浅利 美鈴 氏

パネラー：octangle、上勝町ゼロ・ウェイトセンター “WHY”、株式会社 Shoichi、エコ〜るど京大、関西広域連合プラスチック対策検討会

第3回会議 令和7年2月3日(月)

参加者数：20 名

主なプログラム：

1. 事例発表「全国のリユース食器活用事例について」

- ・一般財団法人地球・人間環境フォーラム 企画調査研究主任 天野 路子氏
- ・特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所 ecotone 代表理事 太田 航平 氏
- ・特定非営利活動法人 スペースふう 理事 長池 伸子 氏

2. 令和6年度プラスチック対策検討会事業について